

部会だより

健康・福祉部

令和3年度の計画は新型コロナウイルスの影響で、今年も事業の完遂が出来るか危惧されています。

ワクチン接種の拡大に期待して、最善の対策を立てながら進めていきたいと思っております。

- ①第1回市辺地区健康GG大会を10月開催致します。
みなさんのご参加をお待ちしております。
- ②第2回館長杯GG大会の共催事業として、協力を行います。
※11月以降の事業は57号(10月)でお知らせ致します。

歴史・文化部

毎日、テレビを見ながら「早く新型コロナウイルスの感染者が『ゼロ』にならないかな」と願っています。

ところで、医療がない昔は、村に悪霊や疫病が入ってこないよう、神事として村の出入口に祈祷した「勧請縄」を一種の結界として吊りました。

市辺地区のいくつかの地区では、現在でもこの「勧請縄作り」が行事として行われていますので、今年度はこれを題材にビデオ撮影致しますので、皆様のご協力の程よろしくお願ひします。

なお、前号の「各町の寺社等の紹介」DVD制作は次年度以降とします。

- 写真上から ①長緒神社に吊るしてある勧請縄(蛇溝町)
- ②北の街道路口に吊るしてある勧請縄(布施町)
- ③南の街道路口に吊るしてある勧請縄(布施町)

地域活力部

約1350年前に額田王が歌を詠んだ風情が蘇りました。昨年6月、万葉の森船岡山に地域活力部のスタッフのご協力で約20本のムラサキを植栽しました。その場所に、今年4月初旬ムラサキが5本自生しました。地域活力部の事業として初めての朗報です。多年草なので今年の秋まで順調に育てば、また来年も・・・と期待が膨らみます。

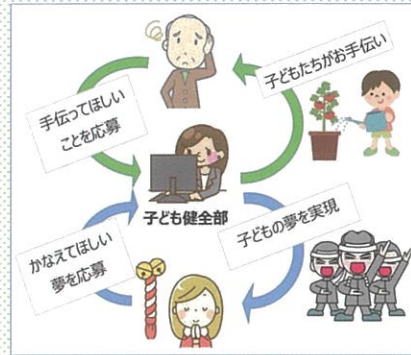
また、本年は6月5日に地域活力部の会員のご協力によりレリーの裏約20メートルの所にムラサキの苗15本を植栽しました。秋までの気象状況が心配です。

なお、今年も希望者に苗の配布を行いました。

子ども健全育成部

子ども夢実現プロジェクト
～子ども、大人それぞれの想いを介して
世代間の交流を活性化します～

コロナ禍で活動が制限されている子どもたちの夢の実現を



大人たちがサポートするプロジェクトです。

さらに、困っている大人を子どもたちがお手伝いできるように、子ども健全部がマッチングして皆さんの笑顔を増やします。

安全・安心部

安全安心部としては、以下の内容で活動を進めていこうと考えています。

- ①夏期及び年末の防犯パトロールへの参加
- ②普通救命(AED)講習会の開催
(令和4年2月頃を予定しています)
- ③防災無線での地震に対する啓発活動
- ④『減災連絡会議』の開催

本会は、市辺地区内の各自主防災組織や自治会等で各々実施されている防災・減災活動を地区内で連携することを目指そうとするものです。

本年度よりキックオフしますので、皆様の積極的なご協力を宜しくお願ひします。

自然・環境部

恒例の事業は、ほぼ昨年通りです。今年、特に変わったことといえば、当部育ちのゴーヤがコミセン職員さんの計らいで、玄関前で来館者さんを迎えていることです。コロナ禍で換気が求められる中、風と共に漂うさわやかな香りは、利用者さんをさわやかな気分させることでしょう。

早くコロナが治り、見学研修や、万葉フェスタが安心して実施できるよう、感染防止に努めて行きましょう。

編集後記

新型コロナワクチンの65歳以上への接種が始まり、隣の老人も2回目が終わり安堵した様子です。これから、若い人たちも同時に接種が始まり、色々な会場で接種されているようです。政府も、少しでも早く希望者に受けてもらうよう必死の様子です。患者数も少なくなったと思えば、3波、4波と変異しながら襲いかかっています。どうか希望者全員に、1日も早く接種できるよう願うばかりです。T・K



万葉のまち 市辺

第56号

令和3年7月



町をまもる「女性消防団」
西市辺町女性消防団の消火訓練
(中面に関連記事)



令和3年度 市辺地区まちづくり協議会定期総会

令和3年度市辺地区まちづくり協議会定期総会は新型コロナウイルスの感染拡大の関係で書面表決の方法で採決決定されました。表決は下記の各議案について行われ、全議案賛成多数で可決決定されました。

なお、本号で紹介するのは「まちづくり部門」の概要です。

第1号議案	令和2年度事業報告(まちづくり部門)
第2号議案	令和2年度収支決算及び監査報告(まちづくり部門)
第3号議案	令和2年度事業報告(コミセン部門)
第4号議案	令和2年度収支決算及び監査報告(コミセン部門)
第5号議案	令和3年度役員を選出
第6号議案	令和3年度事業計画案(まちづくり部門)
第7号議案	令和3年収支予算案(まちづくり部門)
第8号議案	令和3年度事業計画案(コミセン部門)
第9号議案	令和3年度収支予算案(コミセン部門)

市辺地区まちづくり協議会 令和3年度役員

役職	氏名(敬称略)
会長	須田 智廣 (まちづくり委員・5年目)
副会長	更田 敏行 (自治会連合会 代表)
〃	平尾 彌一 (社会福祉協議会長・5年目)
〃	谷 精一郎 (まちづくり委員・1年目)
事務局長	柴田 俊幸 (まちづくり委員・1年目)
業務主任者(館長)	木田 行男 (コミュニティセンター館長・5年目)
会計	沖 光男 (まちづくり委員・1年目)
会計監事	野田 勇 (船岡 自治会長)
〃	橋本 真二 (柏 自治会長)
(任期:自治連推薦は1期1年、その他は1期2年)	

市辺地区まちづくり協議会「まちづくり部門」 令和3年度 収支予算

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
繰越金	229,907	事務費	330,000
交付金	1,462,000	会議費	60,000
助成金	27,000	広報部	160,000
雑収入	20,093	子ども健全部	120,000
合計	1,739,000	安全安心部	30,000
		歴史文化部	335,000
		自然環境部	250,000
		地域活力部	20,000
		健康福祉部	65,000
		負担金	292,000
		予備費	77,000
		合計	1,739,000

市辺地区まちづくり協議会「まちづくり部門」 令和3年度 事業計画

1. 役員・事務局

- 市事業への積極参加
 - 14地区合同事業、研修会、交流会、フォーラム等
- 協働事業の推進、人材の育成
 - コミセン・各種団体との共催事業の企画立案、地区減災・防災の取組研究
- 事業資金の研究(各種補助金等)
- 指定管理事業の充実
- 第2層協議体 市福みらい会議
- 他のまちづくり協議会との共同事業の検討

【まちづくり部会活動計画】

2. 広報部会

- 広報誌「万葉のまち市辺」No.55号～58号の発行
- ホームページ管理
- 勉強会

3. 地域活力部会

- ムラサキ栽培研究
- 万葉フェスタへの参画
- 地域ささえあい事業

4. 子ども健全育成部会

- 子ども夢実現 プロジェクト (テーマ:子どもたちの豊かな心を育む)

- 各種団体とのコラボ事業推進

5. 安全・安心部会

- 地区安全パトロール(夏・年末)の参画
- 普通救命講習(AED)の実施
- 万葉フェスタへの参画
- 減災連絡会議の推進
- 防災無線放送

6. 自然・環境部会

- コンポスト普及事業「善玉菌で美しい地球を！」
- まちづくり農園事業
 - ・さつま芋作り(小学生・園児とのふれあい)
 - ・大豆播種、豆腐作り
- 環境学習(日帰り研修旅行)
- 出前講座
 - ・ゴーヤ種播き・ゴーヤとサニーレタス苗配布

7. 歴史・文化部会

- 市辺れきし発見塾(講演)
- DVD作成と完成お披露目会
- 千草街道を歩く
- 布施山城遺跡への山道整備
- 蒲生野短歌会

8. 健康・福祉部会

- 健康
 - ①健康づくり実践の場 (市辺地区健康ランドゴルフ大会等)
 - ②健康に関する情報発信
- 福祉
 - ①市辺地区ふれあいサロン
 - ②ちょっときてえな講座
 - ③高齢者・障がい者ふれあい交流
 - ④船岡中学校生徒会(懇談会)

ごあいさつ

こんにちは！
日頃は、まちづくり協議会の活動にご支援ご協力をいただき心から感謝申し上げます。
令和3年度の定期総会は“密”を避けるため、昨年度に続き書面表決にさせていただきました。対面による活発な意見交換の場が待ち遠しいところです。
さて、各専門部の活動がスタートしました。加えて、4月から市辺の地域福祉を考える第2層協議体「市福みらい会議」がスタートしました。

まち協としても、この会議の座長である谷精一郎副会長を中心に、地区の健康長寿のまちづくりの取り組みをすすめております。
本格的に新型コロナワクチン接種も始まり、新規感染者も減少傾向にあるようですが、皆さんにおかれましても引き続き感染対策にご留意ください。



市辺地区まちづくり協議会 会長 須田 智廣

活動の三本柱で安心と安らぎを

市辺コミセンでは新年度を迎え、協働のまちづくり条例の下、指定管理施設として契約更新されました。従来の協定内容に加えて、変更点や追加点を紹介させて頂き、皆様方のご利用に併せて、ご協力をお願いを申し上げます。
先ず、変更点として従来の指定管理事業以外に自主事業(収益事業)が出来るようになりました。また、追加点としては、「生涯学習」と「まちづくり」に加え、「地域福祉」の三本柱で取り組むことになりました。従来から福祉面では地区社協を中心に取組まれて来ましたが、本年度から自治連やまち協など、各種団体で構成される第2層協議体として取

ち 小さな“つながり”
い いつまでも
き 近所の声掛け
ふ 増やして元気
く 暮らしのお宝
し 社会の“つながり”

り組むことになりました。ここに地域福祉“つながり”の標語を作りましたのでご披露申し上げます。新年度のご挨拶とさせていただきます。



市辺コミュニティセンター 館長 木田 行男

西市辺町 女性消防団

日頃、留守がちな男性より地域内における家庭防災の推進を目的として、市辺地区で数少ない「女性消防団」を今回取材させていただきました。

西市辺町には、女性消防団員8名がおられ、各組代表が任期1年で取組まれています。



4月18日は東近江市消防第6分団員と自衛消防、各組代表と女性消防団が参加され、消火栓点検を行いました、その後放水訓練が行われました。

西市辺町では、4月・7月・11月の年3回消火訓練が行われ、そのつど女性消防団の方も参加されています。

<表紙写真>

自然・環境部 大豆の播種作業

6月21日、自然環境部の「大豆播種作業」が行われました。午前8時に集合し、蛇溝町の県道沿いの畑で作業が開始されました。

参加者総勢9人は奥村さんの指示のもと、先ずは種を播く位置を決める糸張りです。この糸は、鳥から種豆を守るオドシの役割もある。三角形の畑に、3糸を平行に張るのが、難しいようです。



2時間余りで作業を完了し、次の畑に移動しました。少しコツを得てスムーズに運び、お昼前に作業は終わりました。

「いい豆がたくさん穫れますように」と祈り記念撮影。

第8回 蒲生野 万葉短歌会

歴史・文化部

応募期間 令和3年7月1日～9月2日

一般、小・中学生の3部門

応募は1人2首以内 (一般は参加料1,000円)

募集の詳細は各戸に配布されたチラシをご覧ください。なお、不明な点は事務局にお問い合わせ下さい。
市辺地区まちづくり協議会
TEL・FAX 050-5802-3392